

広報つしま年末恒例「広報紙で見る2016年の出来事」  
掲載記事からあんなこと、こんなことを振り返ります。

12月

- 半世紀を超える活動に新たな栄誉：54年の歴史ある敵原少年剣道部が平成27年度文部科学省生涯スポーツ優良団体賞を受賞 ①
- 冬の対馬路を11チームが激走：第55回対馬縦断駅伝大会（団体は陸自A 町体協は敵原 女子は美津島が優勝）

1月

- 264人が大人への第一歩：対馬市成人式 ②
- 敵原小学校の榎野詠珠さんがピアノコンクールで全国大会ベスト16に！…ベートンピアノ音楽コンクール全国大会でシヨパンの「幻想即興曲」を演奏
- ユネスコ世界記憶遺産登録をめざして：NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会と財団法人釜山文化財団が登録実現に向けて日韓共同申請書の調印式 ③
- 対馬市長賞は木寺住雄さんの「せんだんこの里」：第3回長崎県対馬市文化財・景観写真コンテストに88作品の応募

2月

- 長年の夢 佐須坂トンネル開通式：全長1867メートル、敵原く小茂田の利便性向上 ④
- 敵原中学校の高崎樹くんが最優秀賞：第15回対馬少年の主張大会。表題は「彼女達と僕と」

3月

- 財部市政から比田勝市政へ：2期8年間務めた財部能成市長が退任、比田勝尚喜新市政がスタート ⑤
- 120年の歴史に幕：対馬市立阿連小学校が閉校、児童は4月から金田小学校へ通学
- 宗義智公顕彰碑完成：敵原町の中村ふれあい公園で除幕式。子孫の宗中正氏も出席 ⑥

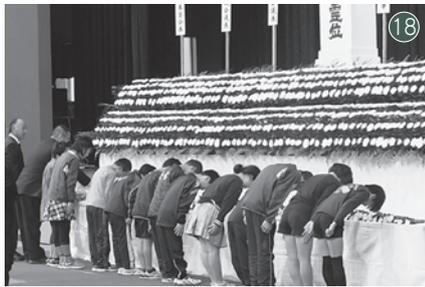
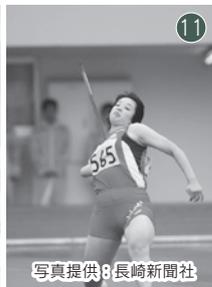
4月

- がんばろう熊本！被災地へ支援物資：対馬市商工会青年部が地震で被災した熊本県阿蘇市と南阿蘇村へ6トントラック1台分の物資を搬送 ⑦
- 対馬の地域振興に光：参議院本会議で有人国境離島法が可決成立
- 対馬初のプロ棋士佐々木大地さんが来島：地元美津島町で市民と対局 ⑧

5月

- ポンプ車操法は豊玉第一分団、小型ポンプ操法は美津島第十分団が優勝：第7回対馬市消防ポンプ操法大会
- 峰町の大石勝彦・昌子さん夫妻が初の農林水産大臣賞を受賞：第56回県乾しいたけ品評会 ⑨





写真提供：長崎新聞社

写真提供：長崎新聞社

- |   |  |   |   |  |  |  |
|---|--|---|---|--|--|--|
| <p>取材では、皆様のご協力をいただきありがとうございます。2017年もよろしく願います。</p> | <p><b>11月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゆつくり・のんびり・安全に……予約制ミニバス「こんどろバス（10人乗り）」運行開始</li> <li>○ 赤米を未来に伝えるために……対馬市赤米諮問大使の相川七瀬さんが参加し「赤米サミット2016 in豆蔵」開催</li> </ul> | <p><b>10月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ハッピーハロウィン……恒例のハロウィンイベントに600人が参加。仮装した子ども達が厳原市街地でハロウィンラリーを満喫 <b>17</b></li> <li>○ 介護予防のスクエアステップ体験……介護予防自主グループが初の全島交流会を実施。50代から90代まで97名が参加</li> <li>○ 戦没者の御霊に黙祷……平成28年度対馬市戦没者追悼式、西小学校の児童らも献花 <b>18</b></li> </ul> | <p><b>9月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スクールバスへの混乗など公共交通の活性化と再生……九州運輸局長から対馬市へ対馬市地域公共交通再編実施計画の認定書を交付</li> <li>○ 五輪出場の松本弥生さん（水泳）が来島……父が対馬出身、湯多里ランドプールで対馬つ子に水泳指導も実施 <b>16</b></li> <li>○ サイクリングで対馬を満喫……福岡市サイクリング連合が、対馬縦断サイクリング大会を実施</li> </ul> | <p><b>8月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝鮮通信使行列に魅了……対馬厳原港まつり賑わう <b>14</b></li> <li>○ 上対馬の半田隆博さんが県大会優秀賞……第34回長崎県漁協青壮年部連合会意見発表会。表題は「愛する家族と共に」</li> <li>○ 元ちとせさんが来島……つしま海道音楽祭2016に日韓のアーティスト7組が出演し、漁り火の見えるステージで熱唱 <b>15</b></li> </ul> | <p><b>7月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 祝20回！1416人が力走……国境マラソンIN対馬開催 <b>12</b></li> <li>○ 文化財を大切に……矢立山古墳群と金石城跡を佐須中生徒と陸自対馬駐屯地曹友会の隊員が清掃活動実施</li> <li>○ 浅茅湾で海上散歩を満喫……対馬シーカヤックフェスタ2016 <b>13</b></li> </ul> | <p><b>6月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ チャリティ鮮魚市で熊本震災復興支援……対馬地区漁協青壮年部連絡協議会が売上金と募金を寄付</li> <li>○ 「対馬市地域包括ケアシステム」の構築に向けて……対馬市立いつはら診療所開院 <b>10</b></li> <li>○ 対馬出身のアスリートが県高総体でV……やり投げの古藤寧々さん（長崎南高…写真右）7種競技の山瀬未来さん（長崎商業高…写真左） <b>11</b></li> </ul> |
|---|--|---|---|--|--|--|



日本と韓国との平和遺産を世界へ

# 朝鮮通信使 inパリ

日韓共通の平和遺産である朝鮮通信使の関係資料333点をユネスコ記憶遺産に登録するため、日韓の民間団体が共同申請書を今年3月30日にユネスコ本部に提出しました。申請書を提出したのは、NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会（日本側）と財団法人釜山文化財団（韓国側）。2017年秋の登録を目指している両団体の活動も大詰めを迎えています。今月はユネスコ記憶遺産登録への取り組みと今後の展開について紹介します。



※**朝鮮通信使**…室町時代から江戸時代にかけて朝鮮国が日本に派遣した外交使節団。豊臣秀吉の朝鮮出兵により一旦は途絶えるが徳川家康の命を受けた対馬藩の交渉の末、1607年復活し、両国の国交が回復。以降1811年までの約200年、日本と朝鮮国は戦争のない平和な時代が続いた。

※**ユネスコ記憶遺産**…「世界の記憶」とも呼ばれ、遺跡や建造物、自然遺産を保護する「世界遺産」「無形文化遺産」とともに、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の三大遺産事業の一つである。「ユネスコ記憶遺産」は危機に瀕した歴史的記録物を保全することを目的に1992年から始まった。主なものは「アンネフランクの手紙」「ベートーベンの手書きの楽譜」などがあり、日本では福岡県田川市と福岡県立大学が共同で申請した「山本作兵衛コレクション」など5件が登録されている。

※**NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会**…朝鮮通信使の歴史的意義の顕彰、史料の調査研究、日韓親善交流を図るために結成された団体。1995年に対馬で結成され日本国内1都2府13県にまたがる官民共同の広域ネットワークを形成する。略称「縁地連」。

※**財団法人釜山文化財団**…朝鮮通信使顕彰事業を展開していた「朝鮮通信使文化事業会」の事業を引き継いだ韓国国内における朝鮮通信使事業の中枢機関。



# 芸術と文化の都パリで朝鮮通信使をPR

11月14日から18日にかけて日韓両国の関係者21名がパリを訪問し、ユネスコ関係者や一般市民向けの講演会、写真パネルや資料の展示を行い、朝鮮通信使の果たした歴史的な役割の重要性・普遍性をPR。またユネスコ本部を訪問し、関係者と審査や登録のスケジュールについて意見交換を行い、膨大な申請件数から審査、登録に至るまでの過程について説明を受けました。ユネスコ関係者からは「通常は1国につき申請は2件までとなっているが、多国間の申請は例外」とコメントがあり、登録に向けての希望を新たにするものでした。



パリ韓国文化院における開会セレモニー



パリ日本文化会館での講演会の様子。約50名が参加



パリ韓国文化院での朝鮮通信使人形の展示



ユネスコ本部での意見交換



パリ日本文化会館での朝鮮通信使資料の展示

## 登録申請までの道のり

- 2014年
  - 5月 縁地連内に朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会を設立。
  - 6月 釜山で朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産韓国推進委員会を設立。
  - 6月 諮問機関となる朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会を設置。
  - 以降 「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同推進会議」「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同代表者会議」「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議」を開催。
- 2015年
  - 3月 文部科学省より記憶遺産国内公募要領が出され、多国間による共同申請はユネスコに直接申請できることが確認された。
- 2016年
  - 1月 ユネスコ本部に提出する申請書調印式を対馬市で開催。
  - 3月 日韓共同申請書をフランスのユネスコ本部に提出。
  - 11月 パリにおいて一般市民向けに講演会を開催。ユネスコ本部を訪問し意見交換。



今年1月に行われた対馬での調印式の様子。右がNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会の松原一征理事長。左が財団法人釜山文化財団のイ・ムンソプ代表理事

## 朝鮮通信使を世界に広めようと活動する日本側の団体「縁地連」の理事長、松原一征さんに聞きました



NPO法人朝鮮通信使縁地連協議会  
松原 一征 理事長

### ◇朝鮮通信使の歴史的価値を広める活動を始めたきっかけは

以前からふるさとである対馬を何とか活性化したいと考えていましたが、クリーンヒットがなかなか出ませんでした。1990年、韓国の大統領が来日して行ったスピーチの中で、雨森芳洲や朝鮮通信使の事を紹介してくれた時「これだ。これしかない。」と全身に電気が走った思いでした。26年前の事です。以来、通信使が立ち寄った場所を40か所以上訪ねて歩き「地域おこしの起爆剤にしよう」と訴えて回り、1995年、朝鮮通信使縁地連協議会の結成に繋がりました。争わず、話し合いで解決した朝鮮通信使は平和のシンボルであり、平和共存の模範となる遺産です。対馬藩の重大な役割を世界にアピールしたいと願っています。

### ◇なぜ日韓共同での申請を

韓国側で取り組んでいる釜山文化財団の初代の代表理事で、対馬市の国際諮問大使である姜南周先生（カンナムジュ）の発案です。彼とは昔から家族ぐるみで交流していて、日本と韓国に残っている通信使の資料を広く世の中に広めるためには、ユネスコの記憶遺産への登録がふさわしい、行政より民間の方が動きやすいと考え、共同申請でいこうとなりました。今回、日本と韓国の関係団体を引つ張ってきた対馬の関係者の役割は大きいと自負を持っています。

### ◇ユネスコを訪問しての手ごたえは

記憶遺産で2国間の共同申請は初めての取り組みで、ユネスコ側も良い印象を持ってくれたと思います。しかし、申請件数は膨大であり審査の過程も複雑で時間がかかると感じました。予断は許しませんが人事を尽くして天命を待つという心境です。

### ◇登録実現後は

本家本元の対馬が核になって、朝鮮通信使を発信する広報活動をしていきます。ユネスコに提出した申請書には、登録後、関係市町を結び「朝鮮通信使の道」を策定し保管管理や展示活用等の情報交換の為にネットワーク造りを企画すると書いています。一方で、来年初に登録が実

現した場合、世界中の人に「さあ見に来てください」と言える企画や施設をどうするのかと心配しています。今、対馬に求められているのは発信力もさることながら、受け入れる仕

組み「おもてなし」だと考えています。外からの目を意識して、世界から訪ねて来ることを想定して動きださねばなりません。

## ～対馬藩主の苦悩を描く～ ミュージカル 対馬物語 「朝鮮通信使の集いIN東京」



市民劇団「漁火」も華を添える

朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産PRイベントとして、11月27日に東京早稲田大学大隈記念講堂で市民劇団「漁火」によるミュージカル対馬物語の上演が行われました。朝鮮通信使がたどり着いた江戸での上演は、対馬が果たした役割の大きさをアピールするものとなりました。

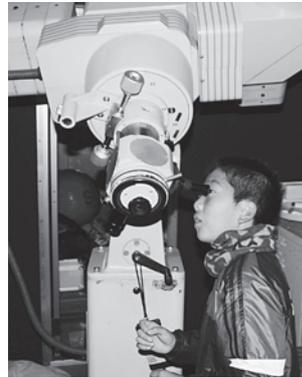
### 過去から未来へ

朝鮮通信使は、両国がお互いに相手を尊重し、対等の立場で交流を継続しようという強い意志により継続してきました。豊臣秀吉の朝鮮出兵では先陣に立ち、徳川幕府の時代に入ると和平と国交回復を命じられた対馬藩は、時代の波に翻弄されながらも「誠心の交わり」により両国間の関係を平和に保ち、お隣の国同士としては、世界でもまれに見るほどの平和な時代を構築してきたのです。ユネスコ記憶遺産への共同申請を通して、私たちが手にするのは「登録」という結果だけでなく、希望や夢を未来につないでいくという思いではないでしょうか。



どちらへ行かれますか？

11月26日、厳原市街地で「第2回対馬市認知症高齢者声かけ訓練」を行いました。参加者は戸惑いながらも「声をかける際のポイント」を参考に優しく声をかけるとともに、認知症の方への理解を深めました。



月に夢をのせて

11月7・8日の両日、県立佐世保青少年の天地から移動天体観測車「ビュースター」が来島。厳原町の漁火公園と上対馬町の三宇田浜海水浴場で月の観望会が行われ、クレーターまできれいに見えるお月さまに魅了されました。



地元の誇り後世へ

11月27日、上県町田ノ浜で『津島紀事』において対馬稲作の発祥とされる榎田地区、宇治川の戦いで活躍し名馬として語り継がれる対州馬「磨墨」<sup>するすみ</sup>「池月」<sup>いけづき</sup>を記念する伝承碑の除幕式が行われました。



佐須の実りを満喫!

11月23日、厳原町下原の体験であい塾「匠」で『2016さす農業秋穫祭』が行われました。新米や秋野菜の格安即売会やよさこい、抽選会などの他に、子どもから大人まで夢中になった芋ほり体験は大人気でした。



重富 ミツエさん (厳原町)  
大正6年11月3日生まれ



西山 ミツさん (厳原町)  
大正6年11月20日生まれ

祝 白寿 おめでとうございます

99歳を迎えられた方々に市から褒状とお祝い金が贈られました。これからも長生きしてください。